

平成 28 年 4 月 1 日
京 都 市

平成 27 年度の業務履行に対する評価及び意見について（まとめ）

平成 28 年 3 月 22 日開催の第 12 回京都市ごみ収集業務評価推進会議において、平成 27 年に実施した「市民アンケート調査結果」及び「市民アンケート結果とセルフチェック結果の比較」などに基づき、各委員から平成 27 年度の業務履行に対する評価や意見をいただいた。

アンケート調査結果などから、これまでの様々な取組を前向きに評価していただいたが、課題に対する意見は次のとおりであり、今後のごみ収集業務の改善に活かしていく。

意見 1：分別義務化に伴う周知啓発の推進

「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の施行後、確実に分別が進んでいるが、十分に周知啓発が進んでいない側面もある。

学生などの若い世代の方にも分別してもらえるよう、アプリ等インターネットを活用し、周知啓発を促進すること。併せて、これまでの対面での啓発活動も継続し、地域と連携して分別を進めること。

意見 2：雑がみの分別・リサイクルの推進

雑がみの分別は着実に進んでいるものの、「雑がみがどういったものかわからない」や「雑がみが大してたまらない」など、十分に周知できていない部分もある。市民にわかりやすい周知・啓発を行い、更なる分別を促進すること。

意見 3：燃やすごみ完全午前収集の実現

燃やすごみの完全午前収集の平成 28 年度の実現に向けて、更なるごみ減量を進めること。

また、燃やすごみの完全午前収集の実現と併せて、午後からの燃やすごみの収集に充てていた時間を活用し、まち美化事務所のマンパワーを活かした、ごみ減量の取組をさらに拡充すること。

意見 4：安全運転に向けた取組

ドライブレコーダーを活用しヒヤリハット事例を蓄積し、研修資料として利用することで、安全意識や運転技量の向上に繋げること。

安全運転に向けた職員への研修を継続的に実施すること。

また、安全運転・安全作業に関する実効性のある取組を推進すること。